

沖水地区だより 8月号

令和7年8月1日 第343号

【沖水管内人口推移等】

町別世帯数・人口集計 (7月1日現在)			
町名	世帯数	人口	高齢化率
吉尾	1,340	2,247	16.86
金田	1,454	3,198	23.38
太郎坊	1,421	3,236	23.79
高木	1,188	2,432	31.16
都北	2,273	4,105	25.74
合計・平均	7,676	15,218	24.39

【行事予定】

8月1日(金)	都城市青少協総会
2日(土)	第52回 都城盆地まつり
4日(月)	第5回公民館長会議
〃	人権啓発推進協議会全体会
6日(水)	戦没者・空襲犠牲者合同追悼式
28.29日(木金)	九州地区公民館連絡協議会(佐賀県)

【民児協】

(沖水小学校との情報交換会)

7月7日、沖水小学校で民生委員・児童委員協議会(以下、「民児協」と)と沖水小学校との情報交換会が初開催されました。

民児協の皆さんは、授業参観をした後、小学校の生徒指導主事などと児童の良いところや気になることなどを情報交換しました。

猛暑が続く中、児童が登校中に熱中症になったこともあり、地域内に児童が駆け込める「こども110番」が増えると良いのでは、という意見が出されるなど、地域でこどもをサポートする体制づくりにつながる会となりました。



【自公連】

(都城市自治公民館運営研修会)

7月10日(金)、ウエルネス交流プラザ ムジカホールにおいて、「都城市自治公民館運営研修会」が開催されました。

独立行政法人 国立女性教育会館理事長の萩原なつ子氏を講師にお招きし、「共助でつくる災害に強い地域」と題した講演をしていただきました。

多くの自治体・町内会・自主防災組織の役員にほとんど女性がない。女性だけでなく、若者、子ども、LGBTQの人を含め、多様な人々を様々な組織、団体の意思決定過程に平常時から参画させることが、きめ細かな対策のためには必要不可欠である。と力説されました。



【高齢者学級】

(ハロー市役所元気講座 防火講話)

7月17日、第3回 高齢者学級として消防局総務課の「防火講話」を受講しました。

消防局の坂元、濱口の両氏をお招きし、火災予防、火災が発生した際の対応策や車両を使って煙体験をさせていただきました。

なお、各家に設置されている住宅用火災警報器は、10年経過すると電池が切れてしまうことがあります。それぞれのご家庭での電池点検をお願いします。



【自公連】

(ミニバレーボール大会)

7月6日(日)、沖水地区体育館において、自公連主催の第50回沖水地区ミニバレーボール大会が開催されました。

沖水管内の11自治公民館の精鋭の女性(12~82歳)が一堂に会し、それぞれ個性的なTシャツをまとい、華麗な動きで敵チームを翻弄、勝利に向けて一致団結して頑張りました。



成績

Aパート	Bパート	Cパート
優勝 旭	優勝 吉尾	優勝 東高木
2位 松之元	2位 広瀬	2位 中金田



【お知らせ】

指定避難所

本年の梅雨は雨が少なく、大雨による災害の発生もありませんでした。

しかし、8月を迎え、多くの台風が発生する時期となります。

昨年8月末、台風10号が鹿児島県に上陸、そのまま九州を横断しました。幸い、大きな被害は発生しませんでした。多くの市民の方々が、避難所へ避難しました。

台風の襲来に備えるため、改めて、沖水地区の指定避難所について周知いたします。

一次避難所…沖水中学校、沖水地区公民館
災害の発生が予測される場合などに優先的に開設される避難所です。

二次避難所…沖水小学校
一次避難所のみで対応できない場合や、一次避難所が使用できない場合に開設されます。

福祉避難所…沖水地区公民館
高齢者や障がい者、妊産婦や乳幼児等の特別な配慮や援助を必要とする要配慮者の避難を優先する避難所です。

※ 避難する際は、長期戦に備え、家族分3日間の食料、生活必需品、常備薬など最低限の必需品をご持参ください。公的な備蓄品が届くには時間を要しますので、日頃から、保存期間の長い食料品などを備えておきましょう。

近年は、スーパー台風と呼ばれる非常に規模、勢力の大きな台風の発生も危惧されています。避難できる状況時に避難することを心がけましょう。

